

Annual Report

KANSAI MEDICAL UNIVERSITY MEDICAL CENTER
Department of Vascular Surgery

令和5年度 成績報告

関西医科大学総合医療センター 血管外科

1. 手術統計

手術手技件数	492例	膝窩動脈瘤	3例
(うち動脈造影検査 41例)		上腕動脈瘤	3例
動脈手術	128例	④その他の動脈手術	12例
①閉塞性動脈硬化症	51例	下肢静脈瘤手術	48例
大動脈-両側大腿動脈バイパス術	2例	①血管内焼灼術	31例
大腿-大腿動脈交叉バイパス術	2例	②血管内塞栓術	14例
大腿-膝上膝窩動脈バイパス術	1例	③高位結紮	3例
大腿-膝下膝窩動脈バイパス術	4例	バスキュラーアクセス手術	172例
膝上-膝下膝窩動脈バイパス術	1例	①内シャント造設術	61例
大腿-下腿動脈バイパス術	7例	②人工血管シャント造設術	9例
大腿-足部動脈バイパス術	13例	③上腕転位尺側皮静脈内シャント造設術	1例
(うち膝窩瘤に対して 1例)		④動脈表在化	5例
膝窩-下腿動脈バイパス術	3例	⑤永久留置カテーテル挿入	22例
大腿動脈血栓内膜摘除術	12例	⑥シャント感染	2例
グラフト修復、置換術	2例	⑦シャント閉鎖	2例
血管再生治療	4例	⑧シャント血栓除去	3例
②急性動脈閉塞	19例	⑨シャント血栓除去+PTA	1例
下肢血栓除去術	8例	⑩シャントPTA	62例
下肢血栓除去術+PTA	11例	⑪その他	4例
③動脈瘤	46例	血管内治療	101例
胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術 (TEVAR) 7例		①経皮的血管拡張術/ステント留置術	94例
(うち緊急例) 2例		(うち緊急例 2例)	
腹部大動脈瘤人工血管置換術	3例	②IVCフィルター留置および抜去	4例
腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術 (EVAR) 28例		③血管外傷	3例
(うち同時コイル塞栓 7例)		他科応援手術	2例
(うち破裂・緊急例 6例)		血管造影検査	41例
(うちchimney併用 1例)			
医原性大腿仮性動脈瘤トロンビン注入	2例		

2. 手術成績

動脈バイパス術 手術死亡 1例、入院死亡 1例

①腋窩-両側大腿動脈バイパス術後 7 日目に腸管壊死で死亡。

②大腿-足背動脈バイパス術後、潰瘍から感染が広がり、31 日目敗血症で死亡。

バイパスグラフト 早期閉塞 4例 (うち二次開存 2例)

①下腿バイパス術後 6 日目に閉塞。血栓除去施行するも再閉塞し、対側大伏在静脈を用いて再バイパス (二次再建)。

②外傷に対する緊急大腿-膝下膝窩動脈バイパス術後 1 日目に閉塞。血栓除去するも再閉塞し、静脈グラフト不良部を部分的に置換することで開存 (二次開存)。

③下腿バイパス術直後より、グラフト破綻を繰り返

しやむなくバイパスグラフト結紮。

④大腿-膝上膝窩動脈バイパス術後 1 日目に筋膜による圧迫のため閉塞。血栓除去+筋膜切開を行い開存 (二次開存)。

血管内治療 死亡例、合併症 0 初期成功率 100%

大動脈瘤 手術死亡 1例、入院死亡 1例

①B型解離性大動脈瘤破裂でTEVER行うも 7 日目に脳梗塞で死亡。

②腹部大動脈瘤破裂で緊急EVAR行ったが、腸管虚血、呼吸不全、敗血症で 2 ヶ月後に死亡。

静脈瘤・バスキュラーアクセス手術 死亡例 0、合併症 2例

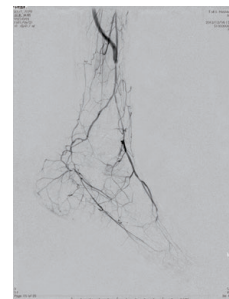
①シャント作成部仮性瘤

②シャント血栓除去部からのリンパ瘻

3. トピックス

●Distal bypass年間施行例が23例に

私たちの診療科の一番の得意分野である下腿動脈バイパス（Distal bypass）が年間23例となり、私が就任してから最多となりました。2022年の終わりに、全世界で行われた多施設共同ランダム化試験である”BEST-CLI”の結果が発表され、血管内治療とバイパス術のどちらでも施行できる症例では1本の大伏在静脈を用いたバイパス術のほうが遠隔成績が良いことが証明されたことも追い風となったものと思われまます。重症症例ではどうしても血管内治療を先行しがちですが、そのような症例でも再狭窄などでうまくいかない場合は早めにバイパスにコンバージョンすることが大切です。その受け皿になるようこれからも成績を向上させていく所存です。



●日韓血管外科で大野先生が優秀演題受賞

6月に韓国の慶州で行われた日韓血管外科学会で大野先生がポスター発表を行い、みごと優秀演題賞を受賞しました。これからも国際学会で自分たちの仕事を発信できるようにしていきたいものです。



●日独血管外科学会では北岡先生が発表

医局でいちばんの若手の北岡先生が、8月にドイツ・レーゲンスブルクで開かれた日独血管外科学会で発表しました。質問にも堂々と受け答えができており、無難に発表をこなしていました。これで医局員は全員国際学会発表を経験したことになります。国内ばかりではなく海外に目を向けて研究をすることを覚えて行ってほしいです。と同時に医局員には海外の先生方と交流することの楽しさを知ってもらいたいと思います。



●森景則保教授が枚方血管外科に就任

4月の心臓血管外科学講座主任教授・小山忠明先生に続き12月には枚方の血管外科の診療教授に森景則保先生が赴任されました。善甫先生に続き、腹部大動脈瘤のステントグラフト治療の第一人者です。関西医大は引き続き血管外科学会理事が2人いる大学となります。私の専門とする末梢動脈疾患治療とともに両輪となり、連携して関西医大を血管外科のメッカにしていきます。



●2人目のエジプト人留学生来日

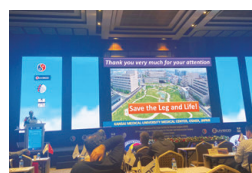
2019年に続き、エジプトの国費留学生として、Islam Atta先生が我々の病院に来られました。Atta先生は色々な手術をこなす血管外科医で、熱心でかつ明るいお人柄のため、医局員ともよく交流し、多くの血管外科診療の知識を勉強していかれました。Atta先生は臨床だけでなく、志願して当科で研究もこなし、地方会での発表のほか、英文論文も書いてくれました。エジプト人血管外科医の熱心さを見て、我々日本人も初心に戻ってしっかり勉強しなければならないと思いました。



●駒井が国際委員長として海外と交流

駒井は現在日本血管外科学会国際委員長を拝命しております。昨年来海外の学会から日本血管外科学会は注目されることが増えており、いくつもの講演派遣やコラボレーションの話が舞い込んできています。本年度も日韓血管外科学会、日独血管外科学会、台湾ワークショップ、南アフリカ、アジア、アメリカやヨーロッパの血管外科学会などからオファーがあり、それぞれ代表者を送り込んでいますが、どうしても委員長も参加しなければな

らないことが多くなります。昨年に続き本年度も8回の海外出張となりましたが、医局員のおかげで日常診療はほぼ変わらずこなすことができました。医局員に感謝です。



●閉塞性動脈硬化症の脂質に関する多施設共同研究の論文が採択

関西の血管外科医とともに以前から行ってきた、脂質に関する多施設共同研究の論文がようやくJournal of Cardiologyに採択されました。1施設ではなかなか集まらない症例数を協力して集め、細かい解析を行ってきた結果、ASOではLDLコレステロールは低値だが、スタチンを服用していることで重症化を抑えている可能性があることを明らかにしています。ガイドラインで推奨されているスタチン投与ですが、ASO患者では低いLDL値を見て、つつい投与を控える傾向がありますが、エビデンスに基づく治療を行っていかねばならないことを再認識させるものです。



●坂下先生が済生会泉尾病院血管外科部長に

本年度のトピックスでなんといっても一番大きな出来事は当科で長年講師として頑張ってください、坂下英樹先生が大阪府済生会泉尾病院（大阪市大正区）の血管外科部長として出向したことです。私が赴任して初めての関連施設となります。坂下先生は人柄も素晴らしく、手術はなんでもこなせるので必ずや泉尾病院が大阪市の血管外科の中心となるでしょう。今後医局員が増えたら坂下先生の元へ送る予定です。



【済生会泉尾病院 坂下英樹先生からの年次報告】

1997年卒の坂下と申します。久留米大学を卒業後、そのまま母校に入局し外科や血管外科診療に従事しておりましたが、2014年に故郷である大阪に戻るのに際し、関西で唯一の血管外科単独診療科であった関西医大滝井病院（現関西医大総合医療センター）駒井教授のもとにお世話になりました。関西医大では総合医療センター駒井教授と附属病院善甫教授の元を歩き来しながら血管外科の研鑽を積み、2023年10月より地域医療の血管診療を充実させるために大正区の済生会泉尾病院に出向いたしました。医療圏としましては大正、西成地区が主であり、府内でも高齢者や独居の患者さんが多い地域でもあり、血管病が見つかった時には「手遅れ」といった患者さんが少しでも減っていくよう頑張っていきたいと思っておりますので、ご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



2023年度（初年度）手術統計（2023年10月～2024年3月）

手術件数（手技件数）	46（49）例	血管内焼灼術	10例
動脈	13例	高位結紮	2例
閉塞性動脈硬化症	7例	バスキュラアクセス	16例
大腿－下腿動脈バイパス	1例	自己血管内シャント造設	9例
大腿－足部動脈バイパス	1例	人工血管内シャント造設	1例
大腿動脈血栓内膜摘除術	2例	シャント感染	1例
（2例ともhybrid－EVT同時施行）		カフ型カテーテル留置	3例
EVT	3例	感染性シャント瘤破裂	1例
動脈瘤	4例	内シャント閉鎖	1例
腹部ステントグラフト内挿術	4例	血管腫	1例
急性動脈閉塞	2例	下大静脈フィルター留置/抜去	2例
血栓除去術	2例	その他	2例
静脈	31例	（下肢切断、気管切開）	
下肢静脈瘤	12例	血管造影検査	3例

4. 研 究

① 論 文

◆ 原 著

1. 三井 信介、児玉 章朗、石田 敦久、井上 芳徳、内田 恒、大木 隆生、隈 宗晴、黒澤 弘二、河野 通成、駒井 宏好、菊池 信介、小久保 拓、澁谷 卓、進藤 俊哉、杉本 郁夫、出口 順夫、保科 克行、緑川 博文、山岡 輝年、山下 裕也、柚木 靖弘、宮田 哲郎、高橋 新、宮田 裕章、日本血管外科学会JCLIMB委員会 NCD JCLIMB分析チーム 2020年JAPAN Critical Limb Ischemia Database(JCLIMB)年次報告 日血外会誌32 363-391 2023.
2. Komai H. Thromboangiitis Obliterans A disappearing disease? Circ J 2024 88:329-330.
3. Komai H, Ogura M, Sakashita H, Miyama N, Yamamoto N, Takai K, Hatada A, Tanimura N, Nakamura T, Yoshida M, Kawaura T, Kitawaki T, the PROLIFERATION study group. The real-world data of lipid-lowering treatment in patients with peripheral artery disease and its association with severity of disease J Cardiol. 2024 84 : 36-40.
4. Komai H. Vascular disease and diabetes. Ann Vas Dis 2024 17:109-113.
5. 坂下英樹、善甫宣哉、大野雅人、神西優樹、植月友彦、岡田隆之 胸部大動脈瘤、大動脈解離に対してIsolated Left Vertebral Artery再建併用ステントグラフト内挿術を行った2症例 日血外会誌 32 : 357-361 2023
6. 大野雅人、善甫宣哉、神西優樹、坂下英樹、植月友彦、岡田隆之 慢性B型大動脈解離に対する胸部ステントグラフト内挿術の中期成績 とくにリエントリー閉鎖によるリモデリング効果と影響因子について 日血外会誌32 ; 351-356 2023

② 学会発表その他

【国際学会】

1. Ohno M, Kitaoka Y, Yamamoto N, Miyama N, Komai H. Early results of surgical bypass for patients with chronic limb threatening ischemia in the era of endovascular therapy. 12th Korea-Japanese joint meeting for vascular surgery, Gyeongju, Korea 2023
2. Komai H Graft preparation, anastomoses targets selection, and exposure of target vessels TSVS 2023 Aorta and Peripheral Artery Cadaver Workshop Hualien, Taiwan 2023
3. Komai H Current status of CLTI treatment in Japan: revascularization by vascular surgeons 12th German-Japanese Vascular Conference Regensburg, Germany 2023
4. Kitaoka Y, Ohno M, Yamamoto N, Miyama N, Komai H. Should surgical treatment be given to very elderly patients with popliteal artery aneurysm?; a review of two surgical cases. 12th German-Japanese Vascular Conference Regensburg, Germany 2023
5. Komai H. Recent trends and treatment strategy of CLTI in Japan WFVS SESSION 5 VASSA Congress Cape Town, South Africa 2023
6. Komai H Desperate situations in limb-threatening ischemia and gene therapy the 24th congress of the Asian Society for Vascular Surgery Satellite Symposium Antalya, Turkey 2023
7. Komai H When there is really no option in CLI (CLTI). The 24th Congress of the Asian Society for Vascular Surgery Peripheral Artery Session Antalya, Turkey 2023
8. Komai H Leg bypass for CLTI according to contemporary guidelines VESSEL 2023 SAM PAD AP Live Seoul 2023
9. Komai H Techniques of leg bypass for better outcomes VESSEL 2023 SAM PAD Luncheon Session Seoul 2023

【総 会】

◆ 特別発表

1. 深山紀幸、駒井宏好、山本暢子、神西優樹、北岡由佳

当院におけるChronic limb-threatening ischemiaに対する外科的
血行再建と血管内治療の成績の比較 サージカルフォーラム(7)
「末梢血管-1」

第123回日本外科学会 東京 2023

2. 深山紀幸、駒井宏好、高橋 新、宮田裕章
NCDデータを用いた閉塞性動脈硬化症重症下肢虚血：患者の予後における悪性新生物の影響に関する検討. 特別企画 2【日本血管外科学会臨床研究推進委員会企画】血管外科学会のモデル研究と推進研究の現状と展望
第51回日本血管外科学会 東京 2023
3. 坂下英樹、大野雅人、植月友彦、善甫宣哉、桑内慎太郎、岡田隆之、湊 直樹、川副浩平
内腸骨動脈塞栓術併用EVARの術後腎筋破行予後 パネルディスカッション 5 内腸骨動脈瘤併存AAAの術式選択
第51回日本血管外科学会 東京 2023
4. 駒井宏好、深山紀幸、山本暢子、大野雅人、北岡由佳
新しいエビデンスを踏まえたBelow knee病変の外科 シンポジウム7 below knee病変の治療内科の棲み分け
第71回日本心臓病学会 東京 2023
5. 駒井宏好
Distal bypassのコツ
第54回日本心臓血管外科学会「卒後教育セミナー」Basic：末梢血管 浜松 2024

◆ 一般発表

1. 神西優樹、北岡由佳、山本暢子、深山紀幸、駒井宏好
乳癌患者における術前静脈血栓症 (VTE) 評価方法の検討 一般口演28・静脈2
第51回日本血管外科学会 東京 2023
2. 大野雅人、坂下英樹、善甫宣哉、植月友彦、桑内慎太郎、岡田隆之、湊 直樹、川副浩平
腹部大動脈瘤に対する EVAR の中期成績よりみたグラフト選択 要望演題 1 EVAR における Device 選択基準
第51回日本血管外科学会 東京 2024
3. 坂下英樹、神西優樹、善甫宣哉、植月友彦、平間大介、岡田隆之、小山忠明
Isolated left vertebral arteryを再建したZone 2 TEVARの2症例 一般演題(口演) 18 TEVAR / Frozen elephant trunk
第64回日本脈管学会 横浜 2024

◆ 座 長

● 駒井宏好

1. 司会 ランチョンセミナー19
第123回日本外科学会 東京 2023
2. 司会 ワークショップ 23「CLTI(包括的高度慢性下肢虚血)の治療選択」
第123回日本外科学会 東京 2023
3. 座長 特別企画 2【日本血管外科学会臨床研究推進委員会企画】血管外科学会のモデル研究と推進研究の現状と展望
第51回日本血管外科学会 東京 2023
4. 座長 招請講演 1 Surgical treatment for CLTI
第51回日本血管外科学会 東京 2023
5. 座長 ランチョンセミナー 13 LEAD におけるゴアのコアテクノロジーと Long-term Durability
第51回日本血管外科学会 東京 2023
6. Chairperson Free Paper Session I
The 12th Korea-Japan Joint Meeting for Vascular Surgery Gyeongju, Korea 2023
7. Chairperson Hot topic AORTA,
12th German-Japanese Vascular Conference Regensburg, Germany 2023
8. Chairperson Free PLENARY SESSION 6
PAD VASSA Congress Cape Town, South Africa 2023

9. 座長 海外招請講演 19

第54回日本心臓血管外科学会 浜松 2024

●深山紀幸

1. 座長 ポスター13 腹部大動脈・3

第51回日本血管外科学会 東京 2023

【地方会、研究会】

●座長

1. 山本暢子

一般演題（末梢血管）

第37回日本血管外科学会近畿地方会 吹田 2024

2. 坂下英樹

「胸部・血管」

第207回近畿外科学会 枚方 2024

●発表

1. 大野雅人、北岡由佳、山本暢子、深山紀幸、駒井宏好

総大腿動脈にかけて留置されたステントを部分除去し、外科的
血行再建術を施行した1例

第5回日本フットケア・足病医学会関西地方会 奈良 2024

2. 深山紀幸

関西医科大学における腹部大動脈瘤治療 _人工血管置換術の現
状_ ランチョンセミナー

第37回日本血管外科学会近畿地方会 吹田 2024

3. 山本暢子、深山紀幸、大野雅人、北岡由佳、駒井宏好

バージャー病と診断されバイパスを行うも閉塞を繰り返し、凝
固異常を疑われた1例

第37回日本血管外科学会近畿地方会 吹田 2024

4. Atta I, Komai H, Kitaoka Y, Yamamoto N, Ohno M

Changes in Perfusion Index over time, as an indicator of lower
limb ischemia

第37回日本血管外科学会近畿地方会 吹田 2024

5. 大野雅人、北岡由佳、山本暢子、深山紀幸、駒井宏好

Distal bypass後にグラフトルートに沿った下腿皮膚壊死をきた
し大切断に至った1例

Peripheral Artery Surgical Meeting 2024 浜松 2024

③講演

●駒井宏好

1. Current Status of revascularization for leg wound in Japan.
Lecture, Cross-field seminar between cardiovascular and
plastic surgeons from Taiwan.

Osaka 2023.4.24

2. 院内、地域で防ぐ静脈血栓症 VTE予防システム構築のヒント

VTE Web Seminar-院内、地域で防ぐ静脈血栓症- 特別講演
大阪 (Web) 2023.7.20

3. 高齢者に多い虚血性と神経性の下肢疼痛の鑑別法

血管疾患と神経障害を考える会 特別講演 守口 (Web) 2023.9.7

4. 最新データから探る近未来のPAD治療

関西PAD-CAD Seminar 特別講演 2 豊中 (Web) 2023.9.14

5. 新しいエビデンスを踏まえた血管外科の未来

第55回奈良血管疾患懇話会 特別講演 橿原 2023.10.14

6. 虚血性と神経性下肢痛の鑑別と最新治療

かかりつけ医のための血管・神経マネジメントセミナー 特別
講演 守口 (Web) 2023.11.2

7. 虚血性と神経性の下肢疼痛の鑑別と治療

痛みの判別と神経障害性疼痛治療を考える 講演 1 大阪
(Web) 2023.12.5

8. 透析患者における足病治療の最新技術

第5回泉尾腎臓病を診る会 大阪 2024.2.17

●坂下英樹

1. 地域医療における血管外科の関わり

第5回泉尾腎臓病を診る会 大阪 2024.2.17

●深山紀幸

1. 腹部大動脈瘤の早期診断とその治療法について

一般講演 かかりつけ医のための血管・神経マネジメントセミナー
守口 (Web) 2023.11.2

●神西優樹

1. 足のむくみは危険信号！？～下肢浮腫と静脈疾患～

血管疾患と神経障害を考える会 特別講演 守口 (Web)
2023.9.7

<当科医局員出張、外勤先（定期、不定期を含む）>

1. 関西大香里病院（寝屋川）

2. 関西大附属病院（枚方）

3. 関西大くずは病院（枚方）

4. 暖生会脳神経外科病院（四条畷）

5. 交野病院（交野）

6. 吉田病院（枚方）

7. 小野山診療所（守口）

8. 羽原病院（泉佐野）

9. 森小路清水会クリニック（旭区）

10. 寝屋川生野病院（寝屋川）

11. いぶきクリニック（門真）

12. 大野記念病院（西区）

13. 有恵会 香里ヶ丘有恵会病院（枚方）

14. たにぐちクリニック（旭区）

15. 土田透析アクセスクリニック（藤井寺）

16. 青樹会病院（寝屋川）

17. 大阪府済生会泉尾病院（大正区）

本年度は今後の当科の方向性を決める重要な3つの出来事がありました。一つは、当科講師であった坂下先生が済生会泉尾病院血管外科部長として赴任したことです。人手不足のおりから大学を抜けるのは痛いところなのですが、私の赴任当初からの構想である、大阪市内に血管外科拠点病院を、という夢が実現するとあって、医局員みんなで応援しました。大阪市内には心臓血管外科診療科は多くありますが、末梢血管外科を主体に診療する病院はまだまだ少なく、泉尾病院がその中核を担うようになることを願っています。今後医局員の派遣もできるようになるとますますその重要性が増してくると思っています。報告から見ると上々の滑り出しをしてくれていると思います。

次に多くの国際学会、国際活動に医局員が目を向けてきてくれたことです。留学生も来たことから必然的に日常で英語を使用しなければならなくなり、私が国際委員長となったこともあって、医局員も国際学会で発表し、国際的視野が少しずつ広がってきました。今の時代自国だけが発展すればいい、というものではなく、国際的協力のもと全世界で血管診療が平等に受けられなければなりません。その意識が当科若手医師にも芽生えてくれたと喜んでいきます。

最後に、私のライフワークであり、重症下肢治療の最後の切り札とも言うべき下腿動脈バイパス（distal bypass）が過去最高数となったことです。これはなにも当科の自慢ではなく、エビデンスに基づき、正当な治療方針のもとバイパス数が増えてきたことがうれしいことなのです。海外の多施設共同研究でやはり最後はバイパス術が必要、と証明されそれに従って当科のようなバイパス中心の施設に症例が集まったといえます。Distal bypass症例数は、まだまだ日本一、とまではいきませんが、術後死亡は0を維持しており、トップクラスの一員となれたことはまちがいになく、信頼される診療科になったと言うことが誇らしい限りです。今後も数だけでなく内容も日本全国に誇れるよう精進してまいります。

今後ともご支援よろしくお願いたします。

関西医科大学総合医療センター 血管外科

教授 駒井 宏好



KANSAI MEDICAL UNIVERSITY MEDICAL CENTER